

# 一票は民主主義の原点

## 「最上川の文化的景観」 世界遺産登録を求め、決議を採択



実証された舟道「黒滝開削跡」

### 報告 議会の動き

#### 一点の誤りもない事務の遂行を周知

全部開票したのか、町議選の争訟について、全員協議会や本会議などで次のような質疑が行われました。

再スタートがきかれる  
12月4日、当選の効力に関する争訟について、仙台高等裁判所が下した判決の結果に基づき、町の選挙会で佐竹典明氏を当選人に決定したことを受け、臨時議会が開かれました。一部事務組合議会議員や常任委員などの選任が行われ、  
西置賜行政組合議会議員  
遠藤幸一議員、  
総務厚生常任委員会  
委員 佐竹典明議員、  
議会広報特別委員会  
委員長 青木彰榮議員、  
鮎貝まちづくり特別委員会  
副委員長 今野正明議員、  
委員 佐竹典明議員、  
と決まりました。

選挙管理委員会の独自性について、  
問 県と町の選管の独自性はどうか。  
答 県と町の選管は、独立した判断をもつものとなっている。  
問 町選管は、県選管に異議申し立てできないのか。  
答 規定により異議申し立てできない。

県選管で全票を開票した結果、異議申し立て事件以外にも、同様な事例があり、有効・無効の判断に一貫性を欠いた点について、  
問 今後はどのように対応しますか。  
答 判決に従い対応します。町長は、「一点の誤りもない緊張感をもった事務の遂行にあたるように」と、全職員に周知したとの報告がありました。



緊張感を持った開票事務を

12月定例議会日程	
月日	会議
12月4日	議会運営委員会
12月5日	議会広報特別委員会
12月11日	本会議、一般質問
12月12日	議会運営委員会 本会議
12月13日	本会議
12月14日	総務厚生常任委員会
12月18日	産建文教常任委員会
12月20日	議会運営委員会 本会議 議会広報特別委員会

定例議会は、12月11日から20日までの10日間の会期で開かれました。  
本議会に提出された主な議案は、  
白鷹町後期高齢者医療に関する条例など条例4件、  
原油高騰にともなう生活支援の対策を実施する19年度各会計補正予算などが、  
審議の結果原案のとおり可決しました。  
請願は、継続審査となっていた3件のうち、2件が採択、一件が継続審査、新たな2件が採択となりました。  
一般質問は、3名の議員が当面する町の問題点や課題をただしました。  
任期満了の人権擁護委員候補者の同意、推薦案については、全会一致で同意、推薦しました。  
議員発議による、「最上川の文化的景観」の世界遺産登録を求める決議を全会一致で決議しました。